

ポリプ



ウミサボテン



写真1



写真2

ウミサボテン

mini・mini 水族館では、大きな水槽では見つけにくい小さな生き物をクローズアップして見せる特別水槽を作りました。

今回初めて展示したのは、ウミサボテンの仲間です。サンゴやイソギンチャクと同じ刺胞動物で、大阪湾の南部、水深 60mほどの海底で底曳き網にかかったものです。ウミサボテンの仲間は、日中は砂の中にかくれています。夜になると体の大部分を水中に出してサボテンのように砂から立ち上がります。この時、イソギンチャクに似たポリプを体全体から出して、流れてくるプランクトンを食べます。この様子は、水槽でも写真1のように見ることができます。しかし、日中にポリプが開くことが少なく、やはり夜が多い様です。日中は写真2のようにポリプを体の中にひっこめて、ゴロンと砂の上に横たわっていることが多いので、ナマコと間違わないで下さいね。



せんなん里海公園
Sennan Satoumi Park, OSAKA

管理事務所